

前田道路が創業100周年を迎え、全国12カ所で実施する記念祝賀会が四国地区を皮切りにスタートした。1日に高松市のJRホテルクレメント高松で開かれた四国地区の祝賀会には四国支店の社員と家族、OB・OGのほか、関係会社役員、共栄会・瀝友会といった協力会社役員など約200人が参加し、1世紀の節目を祝った。

今泉保彦社長は「道路も私



あいさつする  
今泉社長

## 前田道路 創業100周年 高松市から記念祝賀会スタート

たちも世の中の生活の基盤を根底から支えているという自負と誇りを忘れないでほしい」と強調。次の100年に向け「現状に満足せず高い目標にチャレンジすることで、100年後の我が社は今まで以上に世の中から必要とされる企業に大きく成長していると信じている。皆さんと共に未来につづく道を歩んでいくことを誓う」と述べた。

同社は1925年3月に高野政造氏が土木工業業を創業したのが始まり。同社が手掛けた代表的なプロジェクトのパネル展示もあった。

四国支店は高松市の亀井町からサンポートの高松シンボルタワーに事務所を移転し、



100年の歩みを紹介するパネル

2月17日に営業を開始した。JR高松駅から近く、星川学四国支店長は「職場環境が一段とよくなり、社員の働き方改革や今後の採用活動にも一役買いそうだ」と話した。

